

主要な取組例の具体的な内容について

資料5  
平成31年2月19日  
第5回策定委員会

施策	主要な取組例		新規	具体的な内容
①言語能力の育成	1	言語能力の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科等における育成する資質・能力を明確にした言語活動の充実</li> <li>言語能力を向上させるための読書活動の充実</li> </ul>
	2	外国語教育の充実	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTの配置</li> <li>MIA等地域資源の積極的な活用</li> <li>保護者や地域人材(外国人・留学生)を活用するためのボランティア制度の検討</li> <li>教科学習と外国語活動を組み合わせるCLILの取組に関する研究、実践推進</li> <li>小学校における英語の指導力の向上</li> </ul>
	3	帰国・外国人教育相談の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>言語サポーターの拡充</li> <li>学習支援教室「すてっぷルーム」の充実</li> </ul>
②情報活用能力の育成	4	学校図書館の活用		<ul style="list-style-type: none"> <li>「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を発揮できる図書資料の充実</li> <li>中央図書館との連携充実(教科学習と連動した貸し出しサービスの充実)</li> <li>学校司書の常駐配置の検討</li> </ul>
	5	情報モラル教育の実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>企業等と連携したセーフティ教室の実施</li> <li>保護者等と連携した情報モラル教育の推進</li> <li>各教科や特別の教科 道徳、武蔵野市民科等と連携した批判的思考の育成</li> </ul>
	6	ICT機器を活用した授業の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教科書の使用教科の拡大</li> <li>情報技術を適切に活用した学習活動の実施</li> </ul>
	7	プログラミング的思考の育成	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラミング教育の実施</li> <li>近隣大学、NPO等と提携した授業の実施</li> </ul>
③問題発見・解決能力の育成	8	深い学びの実現を通じた問題発見・解決能力の育成		<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科等における意図的・計画的な課題解決的な学習活動の実施</li> <li>総合的な学習の時間及び特別活動の学習活動の充実</li> </ul>
④市民性を高める教育の推進	9	武蔵野市民科の実施	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科等横断的な学習活動の改善・充実</li> </ul>
	10	キャリア教育の充実	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>武蔵野市民科と連携した取組の推進</li> <li>国が作成するキャリアパスポートの活用促進</li> <li>地域と協働したキャリア教育の実施</li> </ul>
	11	長期宿泊体験活動(セカンドスクール・プレセカンドスクール)の実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>取組を通して育成を目指す資質・能力からの計画のあり方に関する見直し</li> <li>武蔵野市民科との連携をはじめとした教科横断的な取組の研究</li> <li>訪問先の地域の確保をはじめとした持続可能な運営の在り方に関する検討</li> </ul>

施策	主要な取組例	新規	具体的な内容
⑤ダイバーシティの推進	12 きめ細かい指導の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や東京都の実施する学力調査の結果分析による授業改善の推進</li> <li>・基礎的、基本的な知識・技能の確実な定着を図る学習指導講師(市講師)、学習指導補助員、理科における観察実験アシスタントの配置</li> </ul>
	13 いじめの未然防止早期対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校ガイダンスプログラムや小学校スタートカリキュラムの活用促進</li> <li>・学校いじめ防止基本方針の策定</li> </ul>
	14 人権教育の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・武蔵野市民科と連携した取組の研究</li> <li>・人権課題「外国人」や「性同一性障害者」を取り上げた授業の実施に向けた人材支援。</li> </ul>
	15 道徳教育の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「考える道徳」「議論する道徳」への授業改善</li> <li>・道徳授業地区公開講座の充実</li> </ul>
	16 登校支援員とSSWの配置拡充		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校における登校支援員の配置拡充</li> <li>・全中学校区に1名配置を見据えたSSWの配置拡充</li> </ul>
	17 チャレンジルームの機能強化		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器の導入</li> <li>・指導員のスキル向上</li> <li>・チャレンジルームの複数箇所設置検討</li> </ul>
	18 フリースクールとの連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリースクールの実態把握</li> <li>・学校とフリースクールとの情報共有の促進</li> </ul>
	19 特別支援学級・特別支援教室・通常の学級における指導体制、支援と連携のあり方の検討		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校特別支援教室の導入</li> <li>・小学校特別支援教室の拠点校増設</li> <li>・特別支援学級の指導体制と通常の学級における支援のあり方の検討</li> </ul>
	20 障害の理解啓発の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員・保護者への情報発信</li> <li>・障害理解教育の実施</li> <li>・交流及び共同学習、副籍交流の実施</li> </ul>
	21 教育センター構想の見直し		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援センターと関係機関との連携のあり方の検討</li> <li>・教育支援センターと教育推進室の関係の整理</li> </ul>
	22 帰国・外国人教育相談の充実(再掲)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語サポーターの拡充</li> <li>・学習支援教室「すてっぷルーム」の充実</li> </ul>
	23 オリンピック・パラリンピック教育レガシーを生かした教育の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習スポーツ課と連携したタグラグビーやニュースポーツ、障害者スポーツの継続的な取組推進</li> <li>・教科学習や特別の教科道徳におけるアスリート派遣・障害への理解の推進</li> <li>・国際理解の推進・スポーツへの関心</li> </ul>

施策	主要な取組例	新規	具体的な内容
⑥健康や安全な生活の実現	24 運動習慣の定着と体力向上の取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1校1取組の充実</li> <li>・体育的行事の取組と精選</li> </ul>
	25 食育の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育全体計画の作成と活用</li> <li>・食育推進モデル校の設置</li> </ul>
	26 新学校給食桜堤調理場の整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学校給食桜堤調理場の整備</li> <li>・地域人材の活用を含めた調理場運営</li> </ul>
	27 自校給食調理施設の整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の改築に合わせた自校調理施設の整備</li> </ul>
⑦誇りとやりがいをもてる働き方の追求	28 武蔵野市立小中学校における働き方改革の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動指導員の導入</li> <li>・出退勤や出張等管理のICT化</li> <li>・教員の持ち時数削減・補助人材の配置</li> <li>・地域のスポーツ団体と部活動の連携の研究</li> <li>・学校徴収金管理システムの構築</li> <li>・教員が学校の共有フォルダ等とアクセスできるクラウド環境の整備</li> <li>・清掃活動や給食を管理するボランティア制度の導入</li> </ul>
	29 教育アドバイザー等を活用した教員研修の実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の主体的な学びの機会を確保する予算の設立(自主研修補助)</li> <li>・近隣自治体と連携した教員研修の実施や都や国が主催する研修と連動させた効率的・効果的な研修のあり方の研究</li> <li>・都や国が指定した研究発表校への積極的な参加制度の確立(全教員が1年に1回は市外の研究発表に参加する)</li> </ul>
	30 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科における主体的な学び、対話的な学び、深い学びの視点からの授業改善</li> <li>・教育課題研究開発校、研究奨励校の指定</li> </ul>
	31 学校運営の中核となる教員の育成		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市教育委員会が実施する中核教員研修の実施</li> <li>・学校管理職等による校内研修の充実</li> <li>・優秀な主任教諭の確保</li> <li>・学校マネジメント講座の充実</li> </ul>

施策	主要な取組例	新規	具体的な内容
⑧学校プラットフォームを中心とした学校運営	32 貧困対策など学校の福祉機能の充実		・就学援助など経済的支援制度の周知
	33 学校・地域・保護者が目標を共有した学校協働体制の構築		・学校教育目標の積極的な情報発信 ・開かれた学校づくり協議会の位置付けの見つめ直し ・地域と学校との関係性の再検討 ・地域コーディネーターによる授業等での持続可能な支援人材の確保システムの確立
	34 学校運営組織の活性化		・開かれた学校づくり協議会や代表者会の充実 ・学校運営協議会の設置の検討
	35 学校評価(自己評価・学校関係者評価)を生かした学校運営		学校評価(自己評価・学校関係者評価)に基づいた学校経営の改善充実
	36 生涯学習事業との連携の検討		・生涯学習と連携し、学校教育を発展させたり、補完的な役割をもつ事業の実施。 ・市立小中学生を対象とした学習講座の開設(科学、技術、工学、芸術、数学)
	37 文化・芸術活動の充実		・連合音楽会や演劇鑑賞教室・オーケストラ鑑賞教室等の実施 ・文化事業団との連携の検討
	38 大学・企業との連携		・企業・大学からの支援人材の紹介 ・部活動の企業との連携方法の研究
⑨未来を見据えた学校の整備	39 学校施設整備基本計画の着実な実施		・計画に基づき、地域の実情、多機能化、複合化を見据えた着実な実施
	40 児童増・災害・老朽化に対応した学校施設の改修		児童生徒数の増加、自然災害リスクの増大、施設の経年劣化に対応した学校施設の改修
	41 ICT化の推進		・スマートフォン等を活用した教育相談体制の研究 ・児童・生徒一人一人へのタブレット端末の配布の検討 ・各家庭の情報端末等との連携
	42 緊急メールの活用		・出欠席の報告を保護者からメール等で行えるシステムの在り方検討 ・児童生徒の学校への登校、学校からの下校の確認を自動で行うシステム導入の検討